

色彩選別機 写真





障害者就労支援でそのぎ茶の生産、販売を手掛ける東彼杵町の社会福祉法人あゆみ会（大内田信之理事長）に、新たに茶葉の選別機が導入された。

同会が所有する茶畑で就労支援施設の利用者約20人が栽培に取り組んでいる。今年は4月後半から6月に約3トンの茶葉を収穫。緑茶や粉末茶などに製茶し、施

補助金を活用し 茶葉選別機導入

東彼杵・あゆみ会

おいしいお茶 届ける



新たに導入された茶葉の選別機
＝東彼杵町蕪郷

設や県内のスーパーなどで販売している。

購入には、競輪振興などに取り組む財団法人JKA

の補助金約580万円を活用。同会は「作業効率上がり、納期日数も短縮できた。日本一になったそのぎ茶の産地として、おいしいお茶を作りたい」としている。

同会は日本財団の補助金約310万円を活用し、トラックも購入した。茶葉や農作物の運搬に使う予定。

（熊本陽平）